

教科・「科目」	数学・「総合数学」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	3	全学科履修科目

1. 目標と評価規準

目標	数学Ⅰ(数と式、2次関数、図形と計量)と数学A(場合の数と確率、図形の性質)について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。	
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法
関心・意欲・態度 (20%程度)	数学Ⅰ(数と式、2次関数、図形と計量)と数学A(場合の数と確率、図形の性質)における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	学習状況発表等
数学的な見方や考え方 (10%程度)	数学Ⅰ(数と式、2次関数、図形と計量)と数学A(場合の数と確率、図形の性質)において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	確認テスト等
数学的な技能 (30%程度)	数学Ⅰ(数と式、2次関数、図形と計量)と数学A(場合の数と確率、図形の性質)において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ノート課題 定期考査等
知識・理解 (40%程度)	数学Ⅰ(数と式、2次関数、図形と計量)と数学A(場合の数と確率、図形の性質)における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	定期考査等
使用教材等	教科書:総合数学(自主編集教材) 電子黒板、学習用パソコン	

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	数学Ⅰ 数と式	1年次に学んだことを踏まえ、基本的な概念だけでなく応用問題を理解できるようにする。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。	電子黒板、学習用パソコン
	5			
	6	数学Ⅰ 2次関数	1年次に学んだことを踏まえ、2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	電子黒板、学習用パソコン
	7			
2 学期	9	数学Ⅰ 図形と計量	1年次に学んだことを踏まえ、三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにする。	電子黒板、学習用パソコン
	10			
	11	数学A 場合の数と確率	2年次に学んだことを踏まえ、場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	電子黒板、学習用パソコン
	12			
3 学期	1	数学A 図形の性質	2年次に学んだことを踏まえ、平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	電子黒板、学習用パソコン
	2			
	3			

備考	
----	--